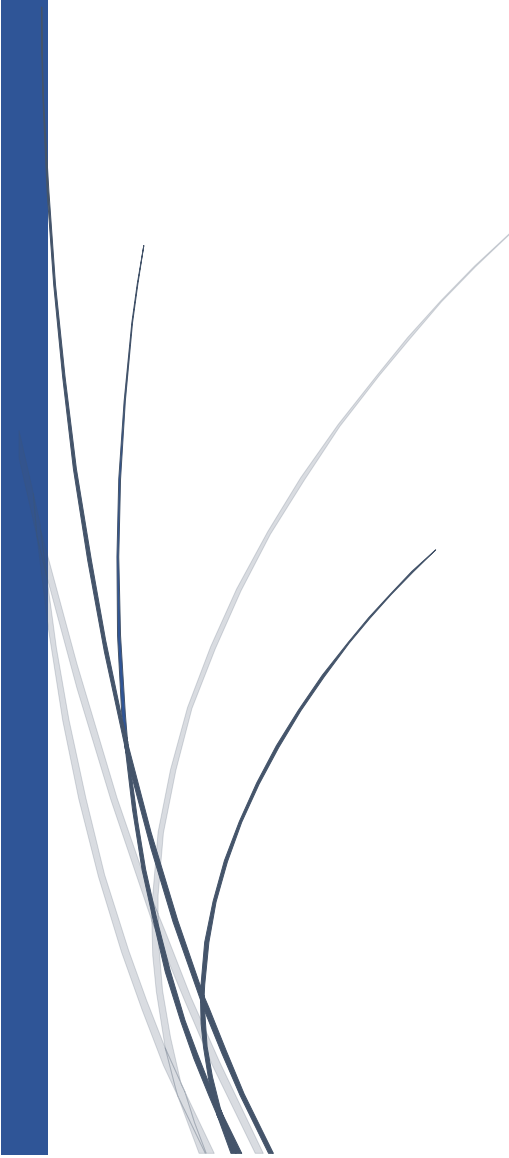




令和 7 年度事業報告

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日



一般財団法人國學院大學院友会

概要

令和7年度の諸事業も、予定どおり対面形式で実施することができた。公益目的支出計画に該当する育成事業を始めとした実施事業は、ほぼ計画どおり実施することができた。同窓会活動における支部活動は、ほとんどの支部で総会・懇親会が開催されたが、全体的に出席者数が従前までには戻らず、対応に苦慮している支部もあり、来年度以降の課題でもある。

院友会館においては、多くの同期会・クラブOB会・学生の課外活動等でご利用いただき様々な交流が見られたが、コロナ禍前と比較するとその規模(参加人数)が小さくなっているものが多く増えており、支部総会と同じく人と人の交流という点で考えさせられるものがあった。しかし、次年度に向けて新しい取り組みも理事会で承認され、これらについて積極的に取り組んでいきたい。令和7年度の各事業の概況は、次のとおりである。

【育成事業】

1. 國學院大學学生等支援

- (1) 学術・スポーツ振興資金制度による支援
規程、理事会での決議に基づき支援を行った。

① 学 術 部 門

- * 母校貴重資料デジタル化事業
支援額 100,000 円

② スポーツ部門

- * 硬式野球部 支援額 1,000,000 円
- * 陸上競技部(長距離部門) 支援額 1,000,000 円
- * 柔道部 支援額 1,000,000 円
- * ソフトテニス部 支援額 500,000 円
- * 卓球部 支援額 300,000 円
- * 剣道部 支援額 200,000 円(令和7年度、単年度特別支援)

※対象の団体は、それぞれ優秀な成績を残してくれ、多くの院友に感動を与えてくれた。

※令和8年・9年度の支援対象についても、第49回理事会(令和7年12月19日:金 開催)で審議され、現在の対象団体を引き続き支援することを決定した。

「参考」

- ・第49回理事会で決議された令和8年度の対象団体と支援額

① 学術部門

母校所蔵の貴重資料デジタル化事業 100,000 円

② スポーツ部門

硬式野球部 1,000,000 円 / 陸上競技部(長距離部門) 1,000,000 円
柔道部 1,000,000 円 / ソフトテニス部 500,000 円 / 卓球部 300,000 円
剣道部(※特別支援:令和8年度も継続支援決定) 200,000 円

- ・院友等からの「学術・スポーツ振興資金」協力金額

令和7年度合計 2,632,000 円(前年度比 680,940 円減益)

(2) 教職を目指す学生の支援

教職課程受講者を対象として、小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を目指す学生に学習指導要領を贈呈し応援を行った。

渋谷キャンパス 合計 98 冊贈呈 / たまプラーザキャンパス 合計 300 冊贈呈

(3) 院友会長賞(学生の部)による支援

第50回理事会(令和8年3月30日:月 開催)で審議、次のとおり決定した。

「受賞者」

■ 田原裕子ゼミナール

毎年2月頃、渋谷駅界隈で行われている「渋谷三すく祭」に積極的に協力。今年で8回を数え、このイベントへの協力は1回目から続いている。学生たちが考えて趣向を凝らした企画は、このイベントに欠かせないものとなっている。今日まで継承されてきた活動、そし



院友大会での贈呈セレモニーの様子

て今後も受け継がれていくこの活動は、大学の地元であり世界から注目される渋谷のまちづくりへの貢献が非常に大きいものであり、この活動は今後も期待される。

(4)キャリアサポート課との連携強化

就職活動支援への協力、及び連携強化の一環として次の事業に協力した。

①OBOG・内定者アドバイス会

➤ 開催日時：令和8年2月7日(土)

アドバイス会 午後1時10分～4時50分 全3回

情報交換兼懇親 午後5時30分から

➤ 協力内容：キャリアサポート課と連携し、アドバイスに協力してくれた全OBOG・内定者への謝意、及びアドバイス会終了後の情報交換兼懇親での挨拶、参加学生(延べ450名 ※キャリアサポート課からは、200名強の学生が参加したとの情報)へ応援メッセージ付オリジナルラベルウォーターを配付し激励した。



②合同企業説明会

➤ 開催日時：渋谷キャンパス 令和8年2月9日(月)・10日(火)・3月5日(木)

午前の部 午前10時30分～午後12時50分 3回

午後の部 午後2時～午後4時20分 3回

たまプラーザキャンパス 令和8年2月12日(木)

➤ 協力内容：渋谷キャンパス

キャリアサポート課と連携し、参加学生(延べ1,800名 ※キャリアサポート課からの情報)へ応援メッセージ付オリジナルラベルウォーターを配付し激励した。

たまプラーザキャンパス

たまプラーザ事務課と連携し、参加学生(延べ320名 ※たまプラーザ事務課からの情報)へ応援メッセージ付オリジナルラベルウォーターを配付し激励した。

(5)たまプラーザキャンパスを拠点とする学生の支援

人間開発学部・観光まちづくり学部の学生を対象とした応援を行った。(4)での報告のとおり、たまプラーザ事務課の協力を得て、同キャンパスを拠点とする学生を対象にしたイベントの際、渋谷キャンパスと同様の支援を行った。

(6)日本の伝統文化体験支援

国際交流課との連携、学生・留学生を主な対象として、日本の伝統文化等に関する学び・体験の機会を支援した。

①5月10日(土) 国際交流プログラムの茶道体験教室(会場提供)

②11月22日(土) 国際交流プログラムの茶道体験教室(会場提供)

(7)院友学術振興会(協力団体)との協力連携による学術振興への寄与

院友学術振興会との協力連携を通じ、学術の振興への寄与事業を行った。

学術振興を目的として、今年度も院友学術振興会へ特別支援を行った。これを基に「新國學 復刊第17号(通巻第21号)」が12月1日に発行、國學院大學図書館にも寄贈され学生の研究資料となっている。又、「公開講座 國學院の古典」も開催され、大勢の方々に受講いただき好評を博した。

※詳細は別掲

《継続課題》

➤ 学生の就職支援活動

本部が主体となり、支部の協力を得ながら実施予定としていたもの。

2. 会館施設の貸与、又は経費の補助

- (1)育成事業に該当する学生の会館利用の際の、施設の貸与又は経費の補助による支援
次のとおり行った。今年度も、特別補助(補助を増額しての学生課外活動支援)を行った。
補助対象 117 件 / 合計補助金額 3,035,120 円 内 特別補助対象 12 件
- (2)國學院大學の授業や諸講座での会館利用の際の、施設の貸与又は経費の補助による支援
今年度は、これへの対応は無かった。

3. 全国の高校生を対象とした文化事業支援

- (1)第 29 回全国高校生創作コンテストへの協力
主 催:國學院大學、高校生新聞社
協 賛:本会、若木育成会、國學院大學北海道
短期大学部
後 援:文部科学省、全国高等学校長協会 他
- (2)第 21 回地域の伝承文化に学ぶコンテストへの協力
主 催:國學院大學、高校生新聞社
協 賛:本会、若木育成会、國學院大學北海道
短期大学部
後 援:文部科学省、農林水産省、全国高等学校長協会 他

それぞれのコンテストへの協賛を行い、令和 7 年 12 月 7 日(日)に開催された各コンテスト表彰式において祝意を表した。



全国高校生創作コンテスト表彰式

【講座・講演会事業】

1. 講座の開催

- (1)『風土記を読む(第 8 期)～出雲國風土記を読む～』の開催

次のとおり開催した。

- 開講日: 5 月 12 日、6 月 9 日、7 月 14 日、9 月 8 日、10 月 6 日、11 月 10 日、12 月 8 日
令和 8 年 1 月 19 日、2 月 9 日、3 月 16 日 / 毎月曜日 13:30～15:00
- 講 師: 谷口雅博氏(國學院大學文学部教授)
- 会 場: 院友会館 3 階 大会議室
- 定 員: 50 名(申込者は 28 名)

- (2)院友学術振興会公開講座『國學院の古典』(第 27 回)の開催

次のとおり開催した。毎回好評の公開講座で、令和 7 年度も多く参加者を迎えることができた。

- 開講日、内容等

令和 8 年 1 月 28 日(水) ①午後 1 時～ ②午後 2 時 50 分～ 申込 102 名/参加 91 名

- ①上代文学『記・紀』の編纂時期をめぐって

講師: 菅野雅雄 氏

(院友学術振興会会長)

- ②古事記「天孫降臨

ーアマテラスとタカミムスヒー」

講師: 山崎かおり 氏(國學院大學
文学部兼任講師)

1 月 29 日(木) 申込 43 名 / 参加 36 名

- ①神道学「社会変動と神社神道」

講師: 冬月 律 氏(麗澤大学経営
学部准教授)

- ②中国文学「死者を蘇らせる符ー中国道教の呪法からー」

講師: 浅野春二 氏(國學院大學文学部教授)

1 月 30 日(金) 申込 67 名 / 参加 60 名

- ①源氏物語「源氏物語の女君たちー若紫の登場ー」

講師: 竹内正彦 氏(國學院大學文学部教授)



菅野雅雄先生の講義

②民俗学「防災と民俗」

講師：大石泰夫 氏(國學院大學文学部教授)

1月31日(土) 申込 72名 / 参加 59名

①上代文学「火の神楽ー芸能と儀礼からー」

講師：渡邊 卓 氏(國學院大學研究開発推進機構准教授)

②中古文学「『和泉式部日記』を読み直すー召人としての和泉式部ー」

講師：浅川哲也 氏(東京都立大学人文社会学部教授)

➤ 会 場：國學院大學院友会館 B1F 大ホール

(3)生活芸術講座の開催(一般社団法人儀礼文化学会との共催)

儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考え、日本文化の形と心を体験する講座で、次のとおり開催した。

➤ 開講日：令和8年2月8日(日) 14:00～16:00

➤ 講 師：(株)松栄堂代表取締役社長 畑 元章 氏

➤ 演 題：「【美の文化】香道 美の文化-日本の香り」

➤ 会 場：國學院大學院友会館 B1F 大ホール

➤ 定 員：50名(参加 43名/内、18名が院友会受付分:申込者は21名)

2. 講演会の開催

(1)令和7年度 一般公開講演会の開催

次のとおり開催した。

➤ 日 時：令和7年5月24日(土)

17:15～18:15

➤ 講 師：國學院大學陸上競技部

監督 前田康弘 氏

➤ 聞き手：國學院大學陸上競技部

OB会会長 古屋真弘氏

➤ 演 題：「まだまだ続く

～ 歴史を変える挑戦 ～」

➤ 会 場：明治記念館 2階「蓬莱の間」

➤ 来場者：約300名

➤ 聴講料：無料



令和7年度一般公開講演会の様子

(2)統一テーマ「もっと日本を学ぼう」による公益事業の開催

公益事業実施規程に基づき、社会貢献事業として次のとおり実施した。

《岩手県支部》

➤ 開催日：7月5日(土) 10:00～12:00

➤ 講 師：鈴木恵治 氏

(74史/國學院大學院友会岩手県支部長)

➤ テーマ：「志波城造営の目的と破棄」

➤ 会 場：盛岡市「遺跡の学び館」

➤ 来場者：38名

➤ 備 考：志波城古代公園、志波城跡愛護協会との共催



岩手県支部実施事業

《神奈川県支部》

➤ 開催日：7月13日(日) 15:00～16:30

➤ 講 師：吉岡 隆 氏

(94史/國學院大學文学部教授)

➤ テーマ：「大田南畝と江戸時代の文化」

➤ 会 場：鶴岡八幡宮直会殿

➤ 来場者：約60名



神奈川県支部 講演会

《沖縄県支部》

- 開催日：7月19日(土) 15:00～17:00
- 講師：小川直之氏
(83文／國學院大學文学部名誉教授)
- テーマ：『結び』の精神史
～琉球・沖縄のゲーン・サン～
- 会場：パシフィックホテル沖縄
- 来場者：111名



沖縄県支部 講演会

《福島県支部》

- 開催日：8月23日(土) 13:30～14:30
- 講師：中村耕作氏(112史・114博前史
・117博後史／人間文化研究機構
：国立歴史民俗博物館准教授)
- テーマ：「縄文世界の儀礼と象徴」
- 会場：南相馬市民情報交流センター
- 来場者：約140名
- 備考：午前中「浦尻貝塚 縄文の丘公園」の
自由見学あり約140名



福島県支部 講演会

《大阪府支部》

- 開催日：8月23日(土) 13:00～16:10
- 講師：上野誠氏(92文・94博前文・
98博後文／國學院大學文学部教授)
- テーマ：「古代の宴と笑ひ」
- 講師：東城敏毅氏
(ノートルダム清心女子大学文学部
教授)
- テーマ：『長忌寸意吉麻呂
(ながのいみきおきまろ)の宴会芸
「物名歌(もののなのうた)」と「からかいの歌」』
- 会場：大阪天満宮 天満宮会館
- 来場者：39名
- 備考：※対談もあり



大阪府支部 夏期講座

《静岡県中部支部》

- 開催日：開催日 9月6日(土) 13:50～16:00
- 講師：松本久史氏(99史・104神2・106博前神・109博後神／國學院大學神道
文化学部副学部長)
- テーマ：「平田篤胤と駿府の学問」「古代の宴と笑ひ」
- 会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ
- 来場者：約70名

《長野県支部》

- 開催日：10月18日(土) 14:00～15:30
- テーマ：「近世城郭(松本城)の世界遺産登録を目指して」
- 講師：西村幸夫氏(國學院大學観光まちづくり学部教授・学部長)
- 会場：学校法人才教学園 講堂
- 来場者：約50名

《東京都二十三区支部》

- 開催日：11月22日(土) 16:00～17:00
- テーマ：「日本の誇り、雅楽の宇宙観と可能性」
- 講師：東儀秀樹氏(雅楽師／國學院大學客員教授)
- 会場：國學院大學渋谷キャンパス 学術メディアセンター 常磐松ホール

- 来場者：約 150 名
- 備 考：支部設立 20 周年記念

(3)大規模災害被災地公益事業

主に、石川県支部の支援を目的としたもの。支部としては、石川県で令和 9 年(予定)に復活開催を目指している「全日本大学選抜能登半島一周駅伝」の際に、何か支部独自の企画を検討したいとのこと。引き続き、支部の動きに合わせて対応していくこととする。

3. その他

(1)サロンコンサートの開催

毎回多くの来場者があり好評であることから、地域社会貢献事業の一つとして次のとおり開催した。

《第 33 回サロンコンサート》

- 開催日：7 月 26 日(土)14:00～15:15
- タイトル：「あの夏の思い出 ～夏うた&懐メロ コレクション～」
- 出 演：ボーカル 獅子丸・佐藤敦志
- 会 場：國學院大學院友会館 1F ロビー
- 来場者：55 名
- 備 考：株式会社アリアに企画依頼

《第 34 回サロンコンサート》

- 開催日：12 月 13 日(土)14:00～15:15
- タイトル：「二胡・揚琴・パーカッションのコラボ
～幻想的空間への誘い～」
- 出 演：二胡：酒井和嘉子・揚琴：足本みよ子
パーカッション：Christopher Hardy
(クリストファー・ハーディ)
- 会 場：國學院大學院友会館 1F ロビー
- 来場者：80 名
- 備 考：株式会社アリアに企画依頼



第 34 回サロンコンサート



第 35 回サロンコンサート

《第 35 回サロンコンサート》

- 開催日：令和 8 年 3 月 7 日(土)14:00～15:30
- タイトル：「『豊かな表現力、躍動、情熱、
フラメンコの魅力』」
- 出 演：國學院大學フラメンコサークル
Rojos Pimientos
- 会 場：國學院大學院友会館 1F ロビー
- 来場者：101 名
- 備 考：一部、実施事業／育成事業として実施

《継続課題》

- 新規講座・講演会等の実施
事業計画において、時節にかなった新たな講座や講演会の開催を掲げていたがもの。

【会館施設提供事業】

本法人が有する「院友会館」が、地域の方々の交流の場となり更に地域が活性化するよう、これを目的とした会合等の利用の際に支援を行った。

補助対象 68 件 合計補助金額 1,331,550 円

《主な対象実績》

遠州流茶道教室／山種美術館／地元町内会／公益財団法人 重複障害教育研究所 ／ 他

【特定寄付】

國學院大學へ寄付を行った。

- (1)「学生・生徒等の奨学基金」として 1,000,000 円の寄付を行った。
- (2)神殿造替工事の完遂を祝し、500,000 円の寄付を行った。
- (3)國學院大學が実施している全国の高校生対象文化事業への協力支援として、200,000 円の寄付を行った。

【同窓会事業】

1. 会報発行発送事業

次のとおり院友会報を発行した。

①残暑見舞号(390号)

8月18日付発行、8月下旬発送。全8面、96,200部。住所判明者全員に送付した。

②新年号(391号)

令和8年1月1日付発行、令和7年12月中旬発送。全8面、約25,200部。会費・寄付金協力者限定で送付した。

③新院友歓迎号(392号)

令和8年3月22日付発行、令和8年3月下旬発送。全8面、約101,000部。住所判明者全員に送付した。又、新院友・新入生に配付した。

《継続課題》

- 3回発行の院友会報を、住所判明者全てに送付する目標があったが、現状も会館事業収益部門の収益が回復途上であるため、これまでと同じ対応を採った。
- また、発送料等高騰への対応や、デジタル化やペーパーレス化等も踏まえた今後の展開についても検討が必要である。

2. 会員統括組織化事業

次のとおり諸事業を実施した。

①支部長会議(第45回)を開催

- 開催日：5月24日(土)14:00～16:50
- 会場：明治記念館「蓬莱の間」
- 概要：57支部中 54支部出席
4協力団体全て出席
総勢 117名参加
(来賓・主催側含む)



支部長会議の様子(感謝状受賞者謝辞)

院友会運営、大学現況報告、支部現状報告等を行った。

②令和7年度院友大会を開催



院友大会の様子

- 開催日：5月24日(土)18:30～20:30
- 会場：明治記念館「富士の間」
- 概要：出席者 約260名

参加費 1人 10,000円

※支部長会議出席者は招待：

大学の協力による

令和6年度院友会長賞、令和7年度
学術・スポーツ振興資金の贈呈等も
行った。

③ホームカミングデーへの積極的参加

令和7年度は、若木育成会キャンパス見学会も同時開催となった。

- 開催日：令和7年11月30日(日)

- 会 場：國學院大學渋谷キャンパス
- 来場者：約 1,300 名(校友課集計／令和 6 年度 約 1,100 名)
- 企 画：大学内の実施準備委員会での検討により、次のとおり多くの企画が実施された。
 - 藤澤 紫 教授 特別講演
 - 仁志客員教授&武内投手 スペシャルトークイベント
 - 交流ラウンジ / 神殿造替記念企画
 - ディスクゴルフ / 卒業生・在学生オリジナル企画&同窓会
 - 院友会全国支部物産展
 - ⇒ 北海道道北・北海道道南・北海道道東・福島県・千葉県
 - 埼玉県北・長野県・石川県・高知県・佐賀県・長崎県
 - 鹿児島県の 12 支部が参加。
 - 他に、北海道滝川市と國學院大學生活協同組合の参加協力があった。
 - 数年振りに参加協力の支部もあり、当初計画の目標は達成できたものとする。福島県からは、請戸芸能保存会による「請戸の田植踊」の奉納もあり、華を添えてくれた。
- その他：院友へのサービス(還元)として、物産展で利用できる 500 円分のクーポン券 500 枚を配布した。
- たまプラーザキャンパスのキャンパス見学会でも、各支部自慢の銘品が國學院大學生活協同組合の協力で紹介された。
- (キャンパス見学会来場者数 校友課集計／1,461 名／令和 6 年度 1,360 名)



ホームカミングデーの様子

④新年院友交歓会の開催

- 開催日：令和 8 年 1 月 24 日(土)
17:00～
- 会 場：國學院大學院友会館
B1F 大ホール
- 概 要：出席者 約 140 名
参加費 1 人 6,000 円
全學應援團の特別リーダー公開を行った。



令和 8 年新年院友交歓会

⑤支部活動

* 支部活動の開催状況

支部総会へは、業務執行理事を中心に理事や事務局職員を派遣し、積極的に情報交換や交流を行った。

総会等開催支部 53 支部(57 支部中)／総会等開催協力団体 2 協力団体

総会等開催部会 16 部会(院友神職会も含む)

◎総会出席者総数 1,649 名 ※協力団体・部会等を含む 全 71 の会合
「参考」令和 6 年度 出席者総数 1,670 名(全 70 の会合)



6 月 21 日(土)に開催された静岡県東部支部総会 懇親会



8 月 24 日(日)に開催された宮崎県支部総会

* 支部長の交代

次の支部で支部長の交代があった。

尚、支部長を勇退された方には感謝状を贈り謝意を表すことが理事会で承認された。

北海道道東支部・栃木県支部・埼玉県西支部・静岡県西部支部

徳島県支部・佐賀県支部・熊本県支部・大分県支部

* 國學院大學研究開発推進センターの事業への協力

國學院大學研究開発推進センター主催の令和 7 年度公開講演会開催に際し、鹿児島県支部が協力した。

【國學院大學「古典文化学」の創出研究事業】

「九州の神話と神社」令和 7 年度公開講演会

“海の神・山の神を祭る社－文化財と地域社会－”

➤ 開催日：7 月 6 日(日)14:00～

➤ 会 場：国分シビックセンター

国分ハウジングシビックホール

➤ 来場者数：230 名



⑥支部運営費

令和 7 年度も、支部活動の一助を目的として支部運営費を交付した。(「支部運営費に関する内規」に基づくもの)

「令和 7 年度支部運営費」合計 1,365,000 円 ※11 月 21 日送金済

※数支部の申請書提出遅延や、事務局体制の関係で交付が下半期にずれ込んだ。

令和 8 年度は、これについてはこの趣旨に基づき取り組む必要がある。

⑦会員のデータ管理

院友会報の発送先調査や、ホームページの住所変更届等により会員情報の更新を行った。

➤ 会員情報の更新件数 合計 2,327 件

4 月 346 件／5 月 134 件／6 月 253 件／7 月 108 件／8 月 276 件／9 月 263 件

10 月 205 件／11 月 123 件／12 月 120 件／1 月 288 件／2 月 90 件／3 月 121 件

➤ 個人情報の取扱いについては、厳格な手続きで対応した。提供依頼の際も、書面で遣り取りの上、提供の際もパスワードを用いる等慎重な対応を採った。

⑧特色ある院友の掘起こし

各界で活躍している院友の情報を収集すると共に、将来を見据えて協力いただける関係を構築するもの。本年、上場企業の代表取締役社長に就任された院友に対し、祝意を表した。

これらの方を、院友大会に招いて紹介の場を準備したが、調整が難しく実現できなかった。

⑨同好会、親睦会的組織の奨励

活動を奨励している院友会ゴルフクラブのコンペが開催され、院友同士の交流が持たれた。

➤ 第74回コンペ

開催日：令和7年9月4日(木)

場 所：富士カントリークラブ

参加者：37名

➤ 第75回コンペ

開催日：令和8年3月5日(木)

場 所：三甲ゴルフ倶楽部 富士コース

参加者：41名

その他、これに類似する会の活動は特に無かった。



第74回ゴルフコンペ

《継続課題》

➤ 支部の運営や活性化のための取り組みについての検討。

(3)同窓会共通事業

①院友会長賞(院友の部)による顕彰

第50回理事会(令和8年3月30日:月 開催)で審議、次のとおり決定した。

「受賞者」

西村幸夫 氏(推/國學院大學観光まちづくり学部教授・学部長:令和8年3月現在)

令和8年3月、観光まちづくり学部が初めての卒業生を輩出するに際して、学部の

同窓会組織である「國學院大學院友観まち会」設立に尽力。同会は、本会の協力

団体にもなった。在任中は、多様な側面から地域に貢献していくことができる人材の

育成と、同学部の研究・教育により、大小さまざまな地域が「観光まちづくり」の視点から

盛り上がっていくよう、献身的に取り組まれた。

②大学への協力・連携

次のとおり協力等を行った。

・神職養成講習会への協力

第153回(夏期)、第154回(春期)の受入れを行った。従前同様のサービスは提供できなかったが、終了後の利用者からのアンケートによると概ね好評であった。

・院友子弟等特別選考入学試験制度の広報(院友会報での広報/今後も常時掲載の予定)

・國學院カードに関する広報(院友会報での広報/今後も常時掲載の予定)

・國學院大學博物館に関する広報(院友会報での広報/今後も常時掲載の予定)

・企画課の事業に関する広報(院友会報、X:エックスでの広報/今後も常時掲載の予定)

・人間開発学部地域ヘルスプロモーションセンターの事業に関する広報(X:エックスでの広報)

・國學院大學研究開発推進センター「國學院大學『古典文化学』の創出」研究事業への協力(前述のとおり7月6日:日に開催され、鹿児島県支部が協力した)

・神殿鎮座記念祭並びに竣工奉祝祭が5月1日に斎行され、吉田会長他業務執行理事が参列し、祝意を表した。

・他

➤ 第8回オール國學院親睦ソフトボール大会

開催の際、可能な職員の参加と日頃の運営へのお力添えに感謝の意を込めて、懇親会に協賛した。

➤ 大学卒業式当日、卒業証書授与後に

開催された全学部の卒業祝賀会に、

業務執行理事・理事・職員が出席した。

祝意を表すとともに、新院友となった

卒業生に対し直接メッセージを贈る

ことができた貴重な場となった。



卒業式当日の観光まちづくり学部祝賀会

- 学校法人國學院大學、及び学校法人國學院大學栃木学園が設置する学校や園に対しても、卒業式・卒園式の際に祝花を贈り祝意を表した。

③校友課との連携

「院友名簿メンテナンス」「ホームカミングデー」「院友会支部総会」を始めとした様々な業務や事業について協力連携した。今後も連携を強化する。

また、若木育成会の事業にも協力した。

- ・キャンパス見学会での「院友会全国支部物産展」の実施
- ・若木育成会主催の事業への協力や、若木育成会会員との交流(一部の支部)

④ホームページ



ホームページのリニューアルを行った。

インターネットによる情報発信は必要不可欠であり、本会においても母校・学生・各支部や院友情報、及び会館のPR等の発信を行った。又、X(旧 Twitter)による情報発信も行った。

- ニュース 26 件 ※催事、院友動向等が中心
- 支部情報 56 件 ※支部総会開催告知等
- X(旧 Twitter) 112 ポスト

※運動部結果速報、院友活躍情報、支部総会・大学の様子等が中心

新しいホームページのトップページ

⑤院友の図書受入れとその管理

院友の方等から、合計 37 冊の寄贈を受けた。これらは、ホームページで紹介するとともに、一部は来館者にご覧いただけるよう館内に展示した。

⑥協力団体との連携に

院友経済会、マスコミ院友会、院友学術振興会、法学部OB・OG会の4協力団体の内、院友経済会の諸事業についての広報活動、院友学術振興会との連携による「公開講座-國學院の古典-」について取り組んだ。特に、令和 8 年 1 月に開催された「公開講座-國學院の古典-」は、これまでと同じく案内状の発送から受講申込み受付・当日の運営も主体的に携わった。また、令和 8 年 3 月 22 日(日)に、院友観まち会が設立され、3 月 30 日(月)の第 50 回理事会で協力団体とすることが承認された。今後の連携が期待される。

⑦会員へのサービス

次のとおりのサービスを行った。

- ・電報サービス(結婚・叙勲・褒章・受賞等・お悔やみ・等)を行った。
 - ・叙勲 6 件／宮司・社長就任 17 件／受賞 2 件／神社祭礼 2 件／弔電 4 件／当選 6 件
 - 表彰 9 件／結婚 1 件／他 2 件
- ・院友会報におけるプレゼント企画を行った。
 - ・390 号(残暑見舞号) 國學院大學博物館 ミュージアムショップで販売のキャンパスポーチ 応募 76 名 / 当選 10 名
 - ・391 号(新年号) 硬式野球部オリジナルフェイスタオル 応募 22 名 / 当選 5 名
 - ・392 号(新院友歓迎号) 國學院大學オリジナルフェイスタオル 応募 64 名 / 当選 10 名

⑧会費・寄付金等の納入促進

院友会報発送に合わせて納入依頼を行った。会費・寄付金共に、前年度の決算額を若干下回った。しかし、これまで同様支部や神社単位で納入の協力をいただいている。

- ・受取会費 56,296,000 円(前年度比 517,000 円減益)
 - ・受取寄付金 3,478,900 円(前年度比 254,780 円減益)
- 入会金、及び十年会費の予納に関する周知に取り組んだ。
- ・新入生に対して、オリエンテーション関係書類に入学の祝意とともに、この制度に関するお知らせ書類を同封して告知に努めた。
 - ・大学の入学案内や若木育成会のガイドブックにも、同様にこの制度に関するお知らせを掲載して告知に努めた。

⑨研修等の実施

職員の、業務に必要な研修への参加を奨励した。

《参加セミナー・講習会》

「税務関係」「社会保険関係」「税制改正・年末調整」の 3 つのセミナー・講習会に参加した。
本来であれば、他のセミナー・講習会にも参加する予定でいたが、事務局の現状により叶わなかった。

⑩その他

ご案内をいただいた神社の祭典等はできる限る参列した。参列が叶わなかった際には、電報等で祝意を表した。

《継続課題》

- 会費について、制度や会員の納入の際の利便性等、将来を見据えた展開についての検討。
(現状未着手)

【収益事業】

様々な要望に応えながら、各界の多くの皆さまに会館をご利用いただくことができた。しかし、コロナ禍前の収益には至らず今後の課題と言える。又、事業計画には無い新たな修繕箇所や、大掛かりな事案も必要な箇所もあり、今後の対処について検討が必要である。

(1)増益に向けた取り組み

会館事業収益は、次のとおり増益となった。しかし、コロナ禍前までの収益には至っていない状況が続いている。

収益合計 18,518,720 円 / 前年度比 2,996,353 円増(令和 6 年度 15,522,367 円)

※参考:令和元年度 会館事業収益 31,332,008 円

(2)院友会館の設備の修繕等の実施

次のとおりの修繕を実施した。

- ①トイレウォシュレット交換(2 台) ②1 階ロビー空調機の修理
- ③玄関自動ドア コントローラー等交換 ④3 階女子トイレ入口扉修繕
- ⑤消火器の更新(3 台)

※事務局事情により、軽易な修繕等に止まった

(3)会館修繕積立金の対応

昨今、予想外の新たな修繕対応箇所が発生していることから、今後の積立金の必要性を見据え、少しでも多くの自己資金確保のために当初予算を増額(補正予算対応)して 6,200,000 円強の積立を実施した。

(4)その他

- ①学生の利用の際、これまで同様積極的なアドバイスを行いながら対応した。
- ②宿直アルバイトの勤務態勢については、現状の会館事業収益を踏まえ前年度同様、調整しながらの勤務とし、人件費の抑制に努めた。
- ③新しい視点での会館運営、そして利用者の満足度をより高めることを目的として、この専門分野に携わる院友にお力添えいただける検討を開始した。
- ④会館管理業務委託会社との請負料金の見直し(値上げ)に伴い、請負契約を締結した。

《継続課題》

- ①昨今の社会情勢を踏まえた利用料金の見直し

- ②会館外壁打診調査
- ③キュービクル(高圧受電設備)置場の経年劣化への対応
- ④給湯設備のメンテナンス
- ⑤研修室(4階)LED化の検討
- ⑥給排水設備(給排水管・水槽類含む)経年劣化への対応
- ⑦他

【法人事業】

本法人の更なる健全運営のため、法人法及び定款に基づき確実な手続きを行った。

(1)定期提出書類

令和6年度「公益目的支出計画実施報告書」を6月27日に電子申請で提出した。11月17日(月)に手続きが完了した。※修正依頼等は無かった。

(2)業務執行理事連絡会議

理事会・評議員会の開催、及び業務の執行のため次のとおり開催した。

①5月9日(金) 國學院大學院友会館 2階 役員室

〈協議事項〉

- 1. 第48回理事会に関する件
- 2. 第14回定時評議員会に関する件

他 報告事項

②12月5日(金) 國學院大學院友会館 2階 役員室

〈協議事項〉

- 1. 第49回理事会に関する件
- 他 報告事項

③令和7年3月19日(木) 國學院大學院友会館 2階 役員室

〈協議事項〉

- 1. 第50回理事会に関する件
- 他 報告事項

(3)監査

法人法、及び定款に基づき次のとおり行われた。

①5月7日(水) 令和6年度下半期分事業等 國學院大學院友会館 2階小会議室

②12月3日(水) 令和7年度上半期分事業等 國學院大學院友会館 2階小会議室

(4)評議員会

法人法、及び定款に基づき次のとおり定時評議員会を開催した。

・第14回定時評議員会

6月16日(月) 國學院大學院友会館 B1F 大ホール

出席状況等:出席評議員 19名(評議員総数 30名/定足数 16名)

出席理事 18名 / 出席監事 3名

〈評議員会の決議の目的である事項 / ※承認〉

➢ 令和6年度決算の件《貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)の承認》

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢ 支部長交代について 他 15件

〈本任期中の議長について〉

➢ 城所俊哉評議員とすることを全員一致で決した。

(5)理事会

法人法、及び定款に基づき次のとおり理事会を開催した。

①第48回 5月16日(金) 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等:理事総数 25名(定足数 13名) / 出席理事 17名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢ 令和6年度事業報告の件 ➢ 令和6年度決算の件

➢ 令和6年度公益目的支出計画実施報告書の件 ➢ 正会員承認の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢ 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告、他 4 件

②第 49 回 令和 7 年 12 月 19 日(金) 國學院大學院友会館 3 階 大会議室

出席状況等:理事総数 25 名(定足数 13 名) / 出席理事 16 名 / 出席監事 3 名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢ 支部長承認の件 ➢ 正会員承認の件 ➢ 令和 8 年度 支部長会議開催の件

➢ 令和 8 年度一般公開講演会開催の件 ➢ 令和 8 年度院友大会開催の件

➢ 令和 8 年度・9 年度 学術・スポーツ振興資金 支援対象並びに支援額決定の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢ 令和 6 年度 公益目的支出計画実施報告書について、他 8 件

③第 50 回 令和 8 年 3 月 30 日(月) 國學院大學院友会館 3 階 大会議室

出席状況等:理事総数 25 名(定足数 13 名) / 出席理事 21 名 / 出席監事 2 名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢ 令和 7 年度補正予算の件 ➢ 正会員推挙の件 ➢ 令和 7 年度院友会長賞の件

➢ 令和 8 年度事業計画の件 ➢ 令和 8 年度予算の件 ➢ 令和 8 年度表彰者の件

➢ 第 15 回評議員会(定時)招集に関する件 ➢ 協力団体承認の件

➢ 表彰規程一部改正の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢ 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告、他 5 件

(6)個人情報保護委員会

法律、本会規程に基づき次のとおり開催した。

令和 8 年 3 月 30 日(月) 國學院大學院友会館 2 階 小会議室

出席状況等:個人情報保護委員総数 4 名 / 出席委員 3 名 / 出席事務局担当者 2 名

〈決議事項 / ※承認〉

➢ 個人情報保護基本方針一部改正の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢ 令和 7 年度個人情報の第三者への提供について

➢ 令和 7 年度共同利用者との情報共有について

(7)基金の対応

新たに 1,000,000 円の積立を実施した。令和 8 年 3 月 31 日現在、112,725,200 円となっている。

(8)その他

次のとおりの規程の一部改正を行った。

《表彰規程》

これまででは、感謝状を贈る対象を支部長限定としていたが、これを副支部長、及び支部事務局長も対象とすることを目的として見直しを行ったものである。

《継続課題》

➢ 新公益法人制度への対応(「公益法人会計基準」及び「公益法人会計基準の運用指針」への対応)

【その他 共通事項】

備考で示したとおり、事務局の厳しい体制が続き、新たな取組みに着手できていない状況である。解決に向けて、継続して取り組んでいる。

(1)危機管理関連

令和 7 年 8 月 5 日に、消火器取扱いの確認を行った。

今後も、継続して機器類の取扱いについて確認を行う。

(2)事務局関連

事務局専任職員の減員に伴い、派遣スタッフを依頼して対処した。専任職員については、「社会人経験者」「新卒」の募集を行い、それぞれ 1 名の採用を決定した。



消火器取扱いの確認を実施

■備考

令和7年11月1日に、「社会人経験者」を採用したものの、早々に自己都合(体調不良)により休職。その影響で、現在も事務局の厳しい状況が続いている。

《継続課題》

➤ ①防災機器類の更新についての検討

②事務局における業務の効率化

③発足140周年への取組み

※令和9年(2027年)に本会発足140年・院友会館開館40周年を迎えることの検討

④新たな中期計画(今後の本会の運営、財政等)

【附属明細書】

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が無いため、附属明細書は作成いたしません。

以 上